

特集

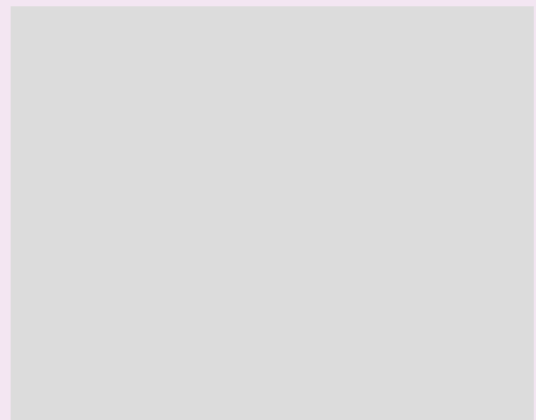
# フォーラム 2012 報告

「全国犯罪被害者支援フォーラム2012」は全国被害者支援ネットワークと日本被害者学会、犯罪被害救援基金、警察庁の主催により、9月28日（金）午後1時30分から東京都千代田区のイノホールで開催。参加者は全国の被害者支援センター、行政、警察関係者、一般参加者らを合わせ、500名余にのぼりました。

今回のフォーラムは、新たに創設された犯罪被害者支援表彰制度の第1回表彰式を含む開会セレモニーと、「子どもの犯罪被害とその支援」を共通テーマにしたパネルディスカッションⅠ、Ⅱの3部構成。開会セレモニーでは、命を奪われた犯罪被害者の方々への黙祷に続き、平井紀夫全国被害者支援ネットワーク理事長が「17回目になるこのフォーラムを、犯罪被害者支援活動の一層の充実につなげていただきたい」と開会あいさつを述べ、来賓の松原仁国家公安委員会委員長（当時）、森山博日本弁護士連合会副会長から祝辞をいただきました。

引き続き第1回表彰式に移り、功労者表彰では「特別栄誉章」の3氏、「栄誉章」の4氏に米田壯警察庁次長と平井紀夫理事長から表彰状とメダルが贈られました。受章者の皆さんは日本の犯罪被害者支援活動を草創期から今日までリードしてこられた先駆者として、その多大な功績が讃えられました。また犯罪被害者支援功労団体として3センターが表彰されました。

さらに犯罪被害者支援活動への格別な支援・協力に対



平井理事長挨拶

する感謝状が4氏1団体に贈られました。

パネルディスカッションのⅠでは、被害者ご遺族4人のパネリストが自らの過酷で悲痛な体験を通し、被害者の心情、関係機関の対応の改善や望ましい支援のあり方などを訴えられました。またⅡでは、増加する子どもの性犯罪被害への支援をめぐり、犯罪被害相談員や臨床心理士、警察官ら専門職が取り組み事例を報告し、連携の重要性や課題などを問題提起。Ⅰ、Ⅱを通じ、被害者支援活動のさらなる充実に向け多くの提言や課題などが示されました。

最後に黒澤正和犯罪被害救援基金専務理事が閉会あいさつを述べ、午後6時閉会しました。

